

大沢台だより

令和6年1月31日(水)

おおさわ学園 三鷹市立大沢台小学校

校長 蔵野 貴通

<http://www.mitaka-school.jp/ohsawadai-es/index.html>



「練習は本番のつもりで、本番は練習のつもりで」／「スクール・コミュニティの創造」

副校長 海老沼 寛之

元日の能登半島地震から一か月が経ちました。地震で犠牲になられた方々へ心より御冥福をお祈り申し上げます。まだ避難生活をされている方々に対してもお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興・復旧を願っております。改めて、自然は豊かで美しく、私たちの心に安らぎや感動を与えてくれるものであるとともに、時に大きな災害を引き起こしてしまう恐ろしいものだと感じます。



先日、左の写真にあるように本校でも地震発生を想定した避難訓練を行いました。「練習は本番のつもりで、本番は練習のつもりで」という視点がとても重要です。地震がいざ起こったときに、練習(訓練)していたことを思い出し、いかに自分の身を自分で守ることができるかが大切です。そのための訓練でした。全員の避難が終わり、人数報告までに要した時間は3分41秒と過去最速です。児童の安全への意識の高まりが感じられました。児童が学校にいるときに地震が起こるかもしれません。それも授業中・休み時間・

登下校中・給食中など様々な時間帯・場面で。そのため、学校での避難訓練は、様々な時間帯・場面を選び、避難訓練を実施しています。今回は、中休みに入った直後という、子どもたちが校庭にいたり、廊下や階段を移動していたりする場面をあえて設定しました。今後も、地震に加えて火災や不審者侵入等を想定した訓練も取り入れながら毎回の避難訓練を大事にし、もしものときに備え、自分の身を自分で守れるような児童を育成していきます。なお、学校以外でも家にいるとき、友達と外で遊んでいるとき、習い事の最中に災害が起こる可能性もあります。ぜひ、御家庭でも今一度、どんな行動をとればよいか、どこに避難すればよいか等、お子さんとお話いただき、確認をしていただけたらと思います。

右の写真は、1月に行ったもちつきの写真です。冬晴れで、温かい日差しの中で盛大に実施することができました。昨年度は3年ぶりの開催、そして今年度は4年ぶりに実際にその日についておもちを児童が食べられました。もちつき体験も楽しくなかなかできないことですが、つきたてのおもちの美味しさを味わえた児童の表情は、どの子どもとても嬉しそうでした。

さて、この貴重でおいしさ満点のおもちを味わえるもちつきは、青少年対策大沢台地区委員会(以下、青少対)の皆様、本校のPTA ボランティア、おおさわ学園三鷹市立第七中学校の生徒ボランティアと、実に様々な方々のお力添えで実現できています。青少対の方々、前日までに様々な材料・道具を準備し、当日の朝も午前8時前からたくさんの準備をしてくださいました。そして、PTA ボランティア、七中生(昨年度まで本校の6年生だった中1の生徒がたくさん来てくれて嬉しかったです。)も加わり、本校の全学級の児童がもちつき体験・そしておいしいおもちを食べられるように、様々な役割を担い、円滑に進むように尽力してくださったのです。誠にありがとうございました。



大沢台小学校の校庭に、児童・教職員だけでなく地域の方々、中学生、保護者がこれだけ多く集まり、一つのことを達成する。日本の伝統行事を味わうことができ、皆、笑顔になり、お互いに顔と名前を覚えながら、会話を交わす。これは、まさに三鷹市教育委員会が目指す「**スクール・コミュニティ(学校を中核としたよりよい地域づくり)の創造**」の一場面と言えるでしょう。

見ていて、とても心温まりました。このような明るく、活気溢れる大沢台小学校の素晴らしい地域がこれからもずっと続いてほしいと思います。

教室の窓

5年担任 宮崎 愛深
大久保 秀晃

1月13日(土)の学校公開では、5年生は「あすチャレ!ジュニアアカデミー」(日本財団パラスポーツサポートセンター主催)として、視覚障がいのパラリンピアンである、有安諒平選手のお話を聞くことができました。徐々に視力が低下していく中でも、前向きに生きてきた有安選手。視覚障がいになってラッキーだと思ったことを考えたり、買い物をするときも、「選べない」のではなく、「選ばれない」と考えたりする姿勢は子どもたちにとって新たな気づきを得るきっかけとなりました。見方を変える大切さ、「できる・できない」で考えるのではなく、「やるか・やらないか」で考える生き方を学ばせていただきました。

また、有安諒平選手と一緒に借り物競争をした際は、「どうしたら、全員が楽しむことができるか。」という視点で新たにルールを考えました。「全員が楽しむ」という視点をもつことは、一人ひとり、個性が異なる人と共に生きていくためには、とても大切なことです。ルールが何のためにあるのか、当たり前のことを疑う姿勢をもつとともに、どうしたら、よりよくなるかを追究していく人になってほしいです。



なわとび週間

担当 西村 祐貴
大山 夏緒

今年度もなわとび週間を行いました。1月16日(火)からの2週間、6年生と1年生、5年生と3年生、4年生と2年生のペア学年を組み、中休みに短なわに取り組みました。上級生が下級生の回数を数え、検定を行うだけでなく、優しく丁寧に教えている様子がたくさん見られました。下級生も、上級生に褒めてもらおうと、張り切って練習に臨んでいました。

体育集会では、運動委員会の児童が短なわ・長なわとびの各技と跳び方のコツを紹介しました。休み時間や長期休みに練習をして、2学期に比べて多くの技や回数を跳べるようになっている児童が多く見られました。

2月15日には、各学級が目標回数を目指して取り組む長なわ大会があります。友達と力を合わせて頑張ってください。寒さに負けず、なわとびを通して、免疫力も高めていけたらと思います。

給食から食育を～元気の源～

給食主任 太田 絢乃

給食室の前や階段を歩くといつもおいしそうな「匂い」。その匂いにつられ、給食室をのぞく子がちらほら。登校後、給食室前の献立表を確認する子もいるほど、給食を楽しみにしている人は多いと思います。私もその一人です。

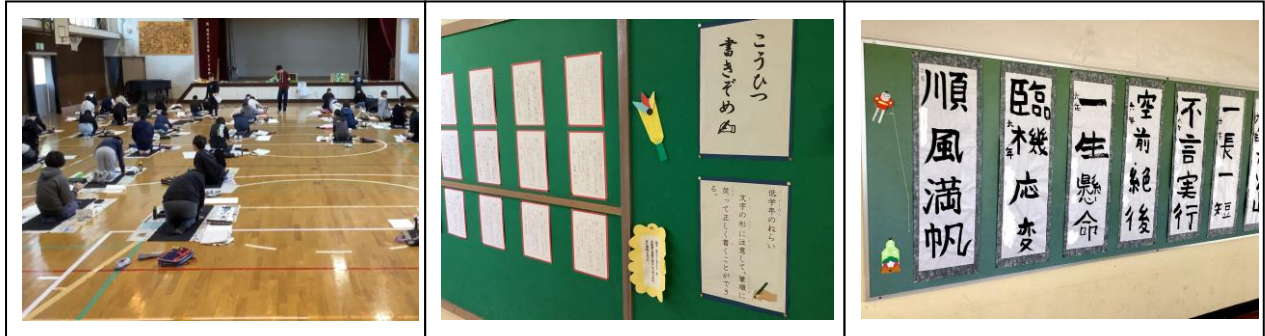
児童・教職員の元気の源の一つである給食は、美味しいだけでなく、季節や伝統行事を学ぶきっかけにもなっています。地場産野菜を取り入れた献立も多く、地域とのつながりを味覚で感じる事ができています。

2学期末には、栄養士の西田さん、調理員の皆様に各学級からの感謝の手紙を渡しました。(調理員の皆さんは、毎朝6時台には出勤をしているそうです。)美味しくいただくだけでなく、感謝の心も育んでいきたいです。

月初に配布する献立表には、月毎の給食目標も掲載されております。御家庭でも話題にいただき、今後も家庭・地域・学校と連携をしながら「食育」を進めていければと思います。

【思い出のアルバム】

校内書初め展



1月9日（水）～12日（金）の期間に、3年生以上で学年合同の席書会を行いました。緊張感のある雰囲気の中、学年のめあてを意識して、一画ずつ丁寧に書く姿が見られました。

13日（土）からは「校内書初め展」として、1、2年生とわかば1組は硬筆作品、3～6年生とわかば2～5組は毛筆作品を展示しました。それぞれの学年の作品のよさを感じられたことと思います。展示は2月2日（金）まで続きます。

1月13日（土）学校公開



夢を語る会



三鷹ばやし



あすチャレ



もちつき準備の様子



もちつき体験

学校公開で行った「夢を語る会」を今回は各学級で行いました。子どもたちがお互いの夢について語り合い、自分の考えを広げたり、友達のことをより知ったりすることができました。

3年生は、三鷹ばやし保存会の方に太鼓を指導していただきました。真剣な表情で演奏し、太鼓の演奏を楽しんでいました。

5年生は、日本財団パラスポーツセンターによる出前授業「あすチャレ！ジュニアアカデミー（日本財団パラスポーツサポートセンター主催）」を受けました。2020パラリンピック競技大会(ボート)と2022パラリンピック冬季大会(クロスカントリースキー)に出場した有安諒平さんが講師に来てくださり、お話を聞いたり、借り物競争をしたりしました。

青少対主催のもちつきが4年ぶりに行われました。PTA ボランティア、七中生ボランティアの御協力のもとで貴重なもちつき体験をし、子どもたちは笑顔いっぱいでした。御協力いただき、ありがとうございました。

このように、地域の皆様や保護者の皆様に御尽力いただき、コミュニティ・スクールならではの大変充実した学校公開となりました。

2月行事予定

日	曜	主な行事
1	木	安全指導
2	金	新1年保護者会 校内書初め展終
3	土	
4	日	
5	月	委員会⑩ なわとび週間（長なわ）始 学校保健委員会（七中にて）
6	火	
7	水	子ども郵便隊
8	木	薬物乱用防止教室（6年）
9	金	
10	土	
11	日	建国記念の日
12	月	振替休日
13	火	
14	水	
15	木	
16	金	なわとび週間（長なわ）終
17	土	
18	日	
19	月	クラブ⑨（3年生もクラブ見学のため6時間授業）
20	火	たてわり活動⑨
21	水	一日家庭教育学級
22	木	生活体験学習（わ）
23	金	天皇誕生日
24	土	
25	日	
26	月	クラブ⑪最終、English Festa（3・4年）
27	火	
28	水	
29	木	



* 予告なしの避難訓練があります。

* 各学年の時数や下校時刻は、学年だより等で御確認ください。

《2月の生活指導目標》

- ・安全に気を付けて健康に過ごそう。
- ・道路での飛び出しは、やめよう。

1月の避難訓練は、中休みだったこともあり、一人ひとりの判断力が大切でした。日々の積み重ねが感じられる速やかな避難ができていました。

空気が乾燥する冬は、感染症対策が大切です。ハンカチはすぐに使えるように身に付けたり、換気をしたりして、健康に過ごせるよう、御家庭でも感染対策の御協力をお願いします。

そして、道路の安全については、「もしも」を考えて、周辺をよく確認することが大切です。通学路に危険なところがないか、改めて確認できるとよいです。保護者・地域の皆様にも、子どもたちの登下校を引き続き見守ってくださいますようお願いいたします。（生活指導部 前田 佳南）

CSコーナー

1月18日（木）に本校にて第8回CS委員会が行われました。この日は、各校の「第2回学校関係者評価」の説明をしました。これは、年内に学校が自己評価をしたものに、CS委員がコメントし、それについての学校の回答を記したものです。

【主な成果】

- ◇大きな学校行事等を通して、児童の自己肯定感や自己有用感を高めることができた。
- ◇たてわり活動で体育的活動を取り入れた。たくさんの遊びの中から選択し、異年齢の集団での交流を楽しんでいる。
- ◇教員の働き方改革が着実に推進されている。

【主な課題】

- ◆探究的な学習を進める上で、自分の課題に対し深く探究することに慣れていない現状がある。また、学んだことを地域・社会に生かしていくことが求められる。
- ◆いじめについて、解消できたものもあるが、まだ見守りが必要なものもあるため、継続して見守り、児童同士の関係が有効になるよう努めていく。
- ◆整理整頓については、教員は学校で声かけ及び指導をしている。子どもたちは言われればやるが、自分からすすんでできていると自信をもって答えられる児童が少ないため、自ら整理整頓できる児童を育成していく。



（副校長 海老沼 寛之）